



2021 年 5 月 6 日

アウディ ジャパン株式会社
プレスサイト <http://www.audi-press.jp/>

お客様問い合わせ 0120 - 598 - 106
アウディ コミュニケーションセンター

2021 SUPER GT 第 2 戦、2 台の Audi R8 LMS が完走

- Audi Team Hitotsuyama は、決勝 17 位完走
- Team LeMans with MOTOYAMA Racing は、決勝 23 位完走

アウディ ジャパン株式会社 (本社:東京都品川区、代表取締役社長:フィリップ ノアック) は、Audi R8 LMS で 2021 年シーズンの SUPER GT GT300 クラスに参戦するカスタマー (プライベート) チームをサポートしています。5 月 3 日 (月)、4 日 (火)、富士スピードウェイ (静岡県 1 周 4,563m) で 2021 SUPER GT 第 2 戦となる「FUJI GT 500km RACE」が開催されました。

今大会は、予選、決勝ともに五月晴れのもと、新型コロナウイルス感染拡大防止策をとりながら、観客を迎え入れての開催となりました。

アウディ ジャパンとパートナーシップ契約を締結している Hitotsuyama racing は、Audi Team Hitotsuyama (アウディ チーム ヒトツヤマ) として、SUPER GT GT300 クラスに参戦。今シーズンの A ドライバーは、昨年から引き続き川端 伸太郎選手、そして B ドライバーには、昨年 Audi Team Hitotsuyama より Audi RS 3 LMS で参戦した TCR ジャパンシリーズで、ドライバーズタイトルを獲得した篠原 拓朗選手を起用。昨年同様ヨコハマタイヤを装着します。

また、今シーズンはチームルマンが、本山 哲氏とのジョイントプロジェクトとして、新チーム Team LeMans with MOTOYAMA Racing を立ち上げ、Audi R8 LMS により GT300 クラスに参戦。A ドライバーは、本山 哲選手自身が務め、2018 年に GT500 から引退して以来、SUPER GT への復帰を果たしています。B ドライバーには、全日本 F3 選手権や全日本スーパーフォーミュラ・ライツ選手権で活躍した期待の若手、片山 義章選手を起用。ヨコハマタイヤを装着します。

土曜日の予選は、好天に恵まれドライコンディションでスタート。参加車両が 29 台と多い GT300 クラスの予選は、A 組、B 組の 2 つに分かれて Q1 を行い、各グループ上位 8 台が Q2 へと進出するノックダウン方式を採用しています。今大会、#21 Audi Team Hitotsuyama は A 組、#6 Team LeMans with MOTOYAMA Racing は B 組に分かれ、#21 は川端選手が、#6 は片山選手が Q1 を担当しました。#21 Audi Team Hitotsuyama はエンジントラブルに見舞われてタイムが伸びず Q1 を敗退。決勝レースは最後尾の 29 位から巻き返しを図る展開となりました。#6 の片山選手は Q1 突破までコンマ数秒にまで迫りましたが、あと一歩及ばず予選総合では 19 位となりました。

日曜日午後 2 時 30 分、前日に続き快晴のもと決勝レースがスタート。今大会は通常は 300km で争われる SUPER GT において、500km を走行する長丁場のレースのため、ドライバー交替を 2 度行う必要があり、チーム戦略も重要な鍵となります。

#21 Audi Team Hitotsuyama のスタートドライバーは、川端選手がつとめました。オープニングラップでポジションを 2 つ上げるなど、スタート直後の混乱の中を着実に走行。21 周を終えた段階でピットインし篠原選手へと、チームは早めのドライバー交替を行う戦略をとりました。篠原選手もミスなくおよそ 40 周をラップし、ふたたび川端選手へとバトンをつなぎます。残りおよそ 40 周を粘り強く走り続け、予選から 12 ポジションをアップし、17 位でのフィニッシュとなりました。

#6 Team LeMans with MOTOYAMA Racing はスタートドライバーを片山選手がつとめました。第 1 スティントでは序盤ではポジションを落とすシーンもありましたが、後半は安定したラップを重ね 41 周を終えたところで、本山選手にバトンタッチ。本山選手はさすがのベテランらしく好タイムを記録しながらおよそ 37 周を走り終え、最終スティントを片山選手に託します。周回を重ねる毎にラップタイムをあげ、この日の Audi R8 LMS 勢のベストタイムを更新。23 位完走となりました。

#21 Audi Team Hitotsuyama チーム代表 一ツ山 亮次氏のコメント

「土曜日の練習走行からエンジンに課題をかかえ、解決することができないまま予選を迎えることになりました。決勝は最後尾からのスタートということもあり、燃費から逆算をして第 1 スティントを短くとる戦略をとりました。ピット作業も順調でしたが、レース全体を通しては上位に及ばずポイントをとるのは難しい展開でした。次は昨年優勝した鈴鹿ですし、課題を解決してポイントを狙っていきたいと思います」

#21 Audi Team Hitotsuyama 川端 伸太郎選手のコメント

「予選は思わしくなかったのですが、メカニックが遅くまで作業してくれたおかげで、決勝レースを走ることができました。まわりのチームが速くなっているだけに、次戦までに改善策を見出して、我々もレベルアップしてポイント争いからなりたいと思っています」

#21 Audi Team Hitotsuyama 篠原 拓朗選手のコメント

「チームの地元のサーキットということでポイントを持ち帰りたい気持ちは強かったのですが、ラップタイムがライバルに対して及んでおらず、そこをしっかりと改善していく必要があります。次の鈴鹿は、Audi R8 では初走行なのですが、Audi RS 3 LMS で参戦した TCR ジャパンシリーズでは優勝経験もあるので、とても楽しみにしています」

#6 Team LeMans with MOTOYAMA Racing 本山 哲選手のコメント

「開幕戦でみえてきたマシンやチームの課題が少し改善されて、成果が感じられるレースでした。ライバルとの比較ではまだまだ難しい部分もありますが、まずは Audi R8 とヨコハマタイヤの組み合わせによるベストなパフォーマンスを発揮して、予選 Q1 突破、そして決勝レースでのポイント獲得が次のレース以降の目標としてあります。レースごとに目標とテーマを設定して、次につなげていきます」

#6 Team LeMans with MOTOYAMA Racing 片山 義章選手のコメント

「チームがマシンを仕上げてくれて、自分自身もチームミーティングやシミュレーターでのトレーニングをこなしてきたことで、Audi R8 にも慣れてきた感触はあります。今日の第 3 スティントでは攻めてやるぞという強い気持ちでのぞんで、タイムを出すことができたのは良かったと思います。次の鈴鹿は Audi R8 にあったコースと聞いていますし、僕自身速いコーナーが好きなので楽しみにしています」

アウディ ジャパンは 2016 年来、Audi Sport customer racing パーツトレーラーを全国のサーキットに配備してレースに参戦するカスタマーチームをサポートしています。今年も専用のトレーラーにボディ、トランスミッション、エンジン等、レース車検に適合した約 3,100 アイテム、約 11,100 点の部品を積載し、いかなるレース展開にも対応できるように体制を整えて、SUPER GT、スーパー耐久、および TCR ジャパンに参戦するチームと共にサーキットを転戦します。

次戦、SUPER GT 第 3 戦は、5 月 29 日 (土) ~ 30 日 (日)、鈴鹿サーキットにて開催予定です。